

5 - 10 関東・東海地域における最近の地殻傾斜連続観測 (1983年5月～10月)

Recent Continuous Measurements of Crustal Tilt in the Kanto-Tokai Area
(May - October, 1983)

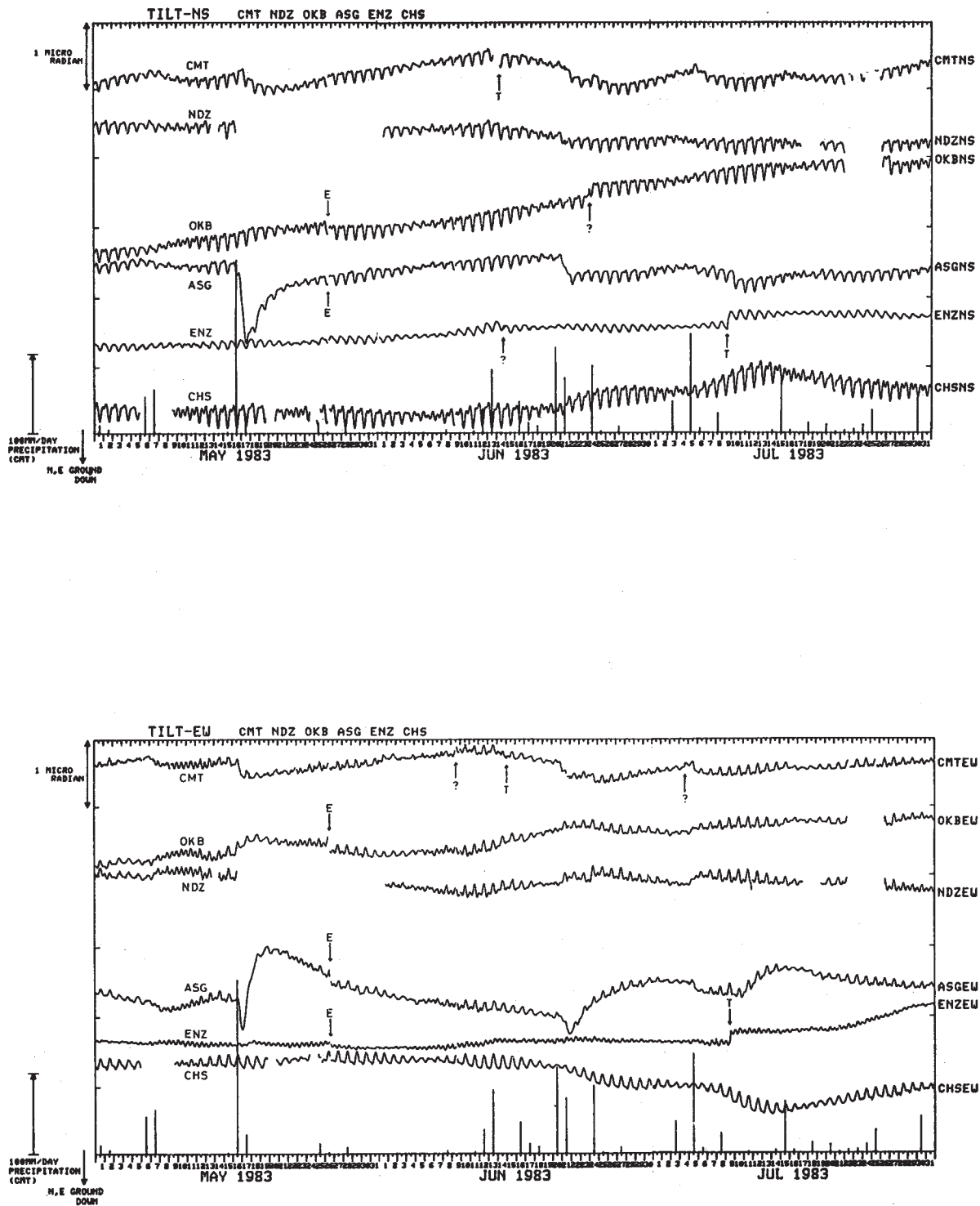
国立防災科学技術センター
National Research Center for Disaster Prevention

前報に引き続き、孔井用傾斜計¹⁾による連続観測の結果について報告する。稼動している観測点の配置は、前報²⁾の第1図に示されている。第1図は、各観測点における傾斜の毎時値をNS・EW成分各にプロットしたものである。第2図には、各観測点毎の日降水量を棒グラフで示す。

この期間の顕著な地震活動については、本誌別稿³⁾に詳しく述べられているが、特に注目すべき事として、8月8日の山梨県東部の地震⁴⁾(マグニチュード6.0)の18日前から異常な傾斜変化が震央の北西31kmの塩山(ENZ)において観測された事があげられる。詳細は本誌別稿⁵⁾を参照されたい。

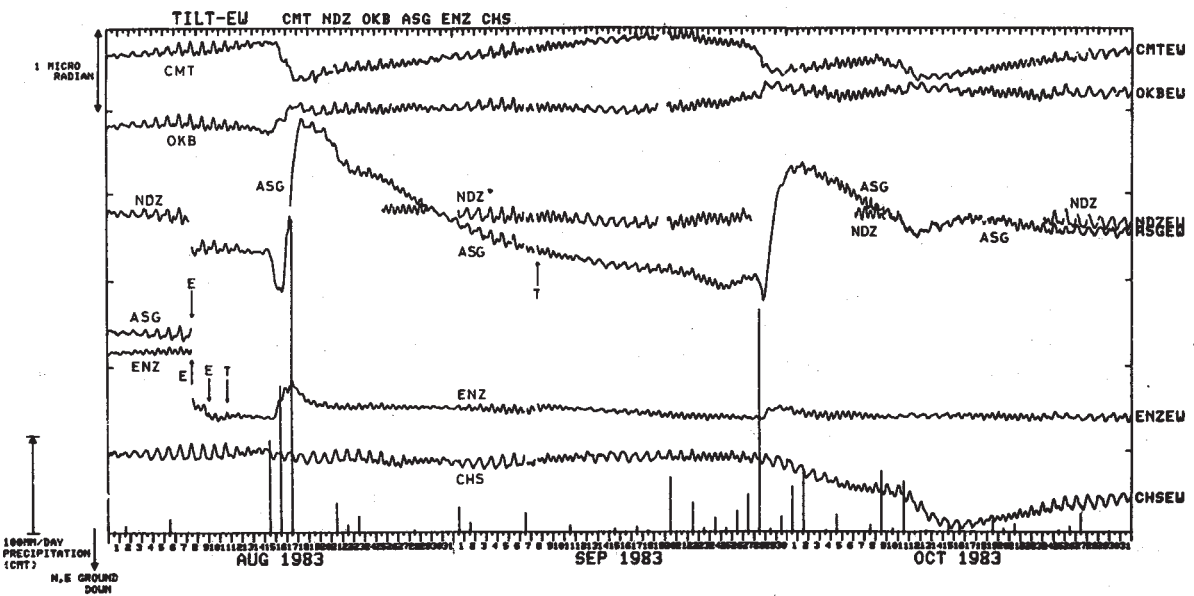
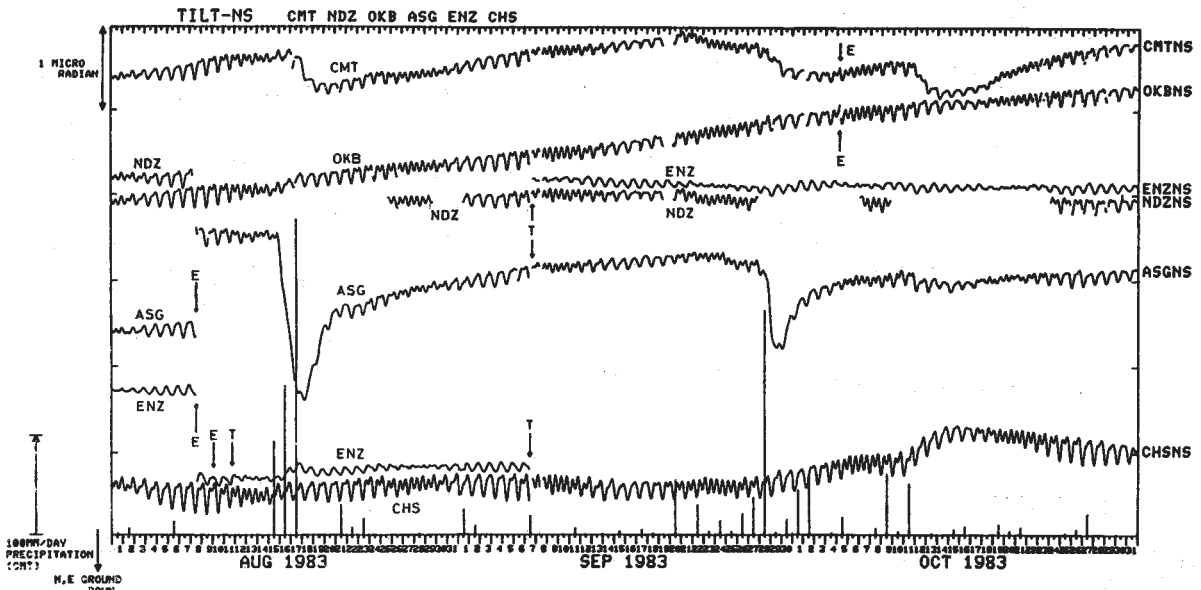
参 考 文 献

- 1) 佐藤春夫・高橋 博・山本英二・福尾信平・上原正義・寺沢康夫：孔井用傾斜計による地殻傾斜観測方式の開発，地震，**33**(1980)，343 - 368.
- 2) 防災センター：関東・東海地域における最近の地殻傾斜連続観測(1982年11月～1983年4月)，連絡会報，**30**(1983)，90 - 100.
- 3) 防災センター：関東・東海地域における最近の地震活動(1983年5月～10月)，連絡会報，**31**(1983)，277 - 288.
- 4) 防災センター：1983年8月8日山梨県東部の地震，連絡会報，**31**(1983)，173-179.
- 5) 防災センター：山梨県東部の地震(1983年8月8日)に先行した異常な傾斜変化，連絡会報，**31**(1983)，200 - 204.

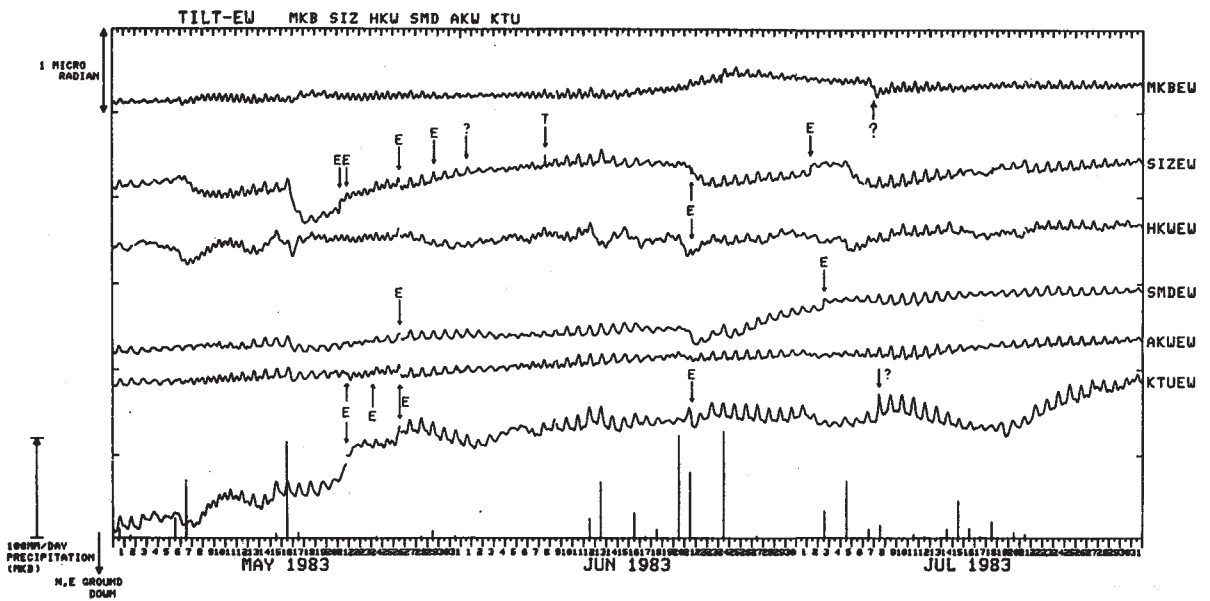
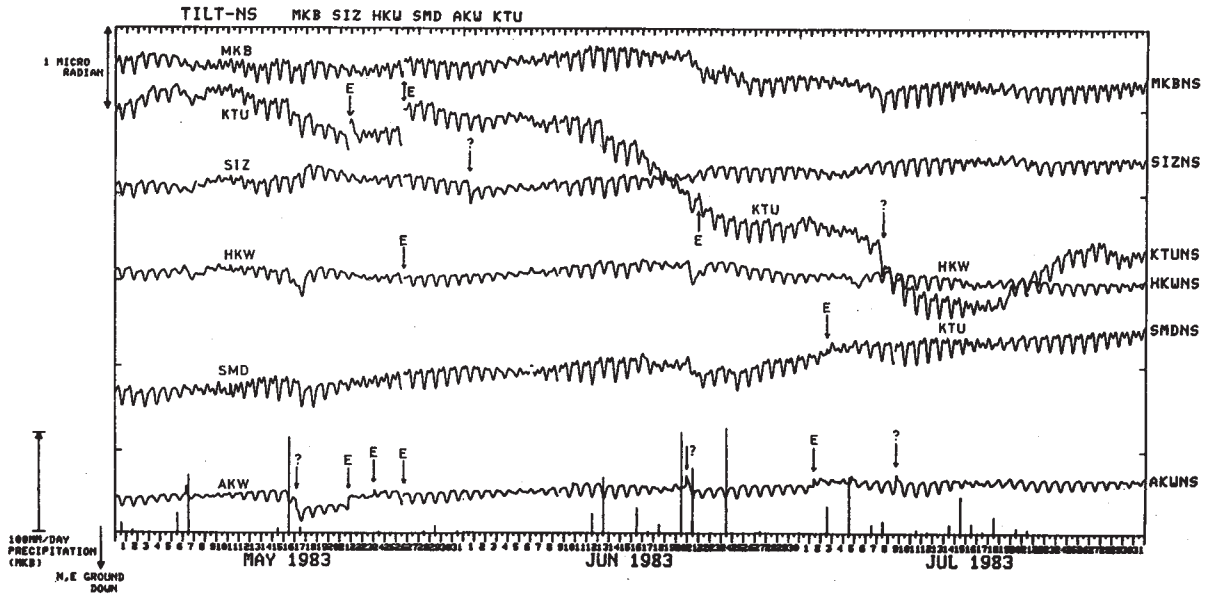


第1図 1983年5月～10月の地殻傾斜変化図。E, 地震時の衝撃による傾斜変化; T, 計器故障; ?, 原因不明の異常な傾斜変化

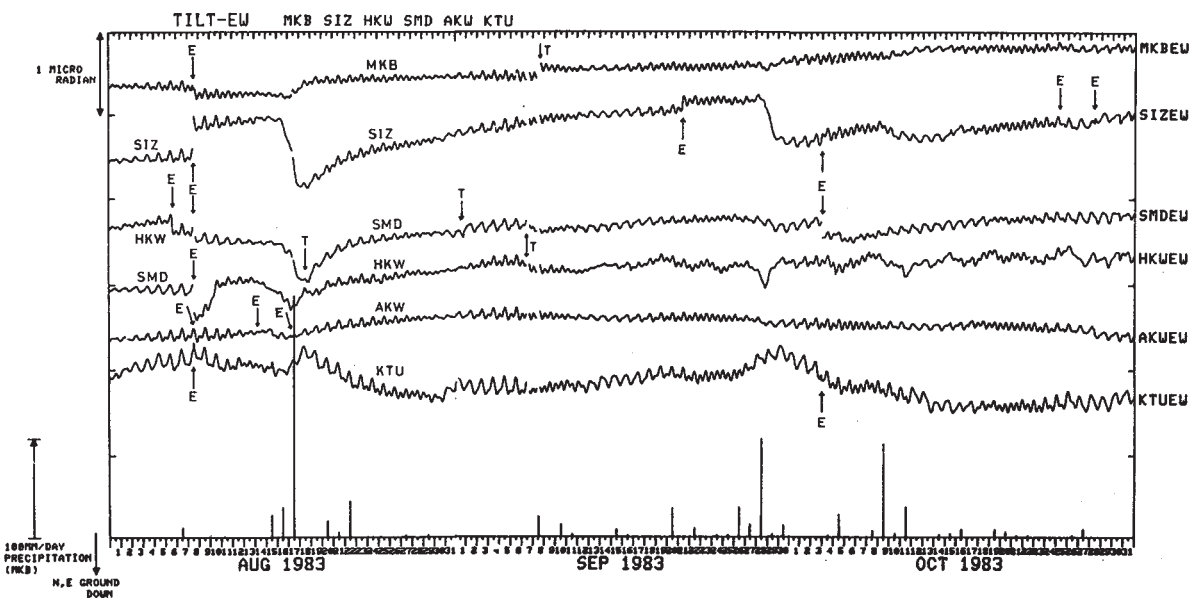
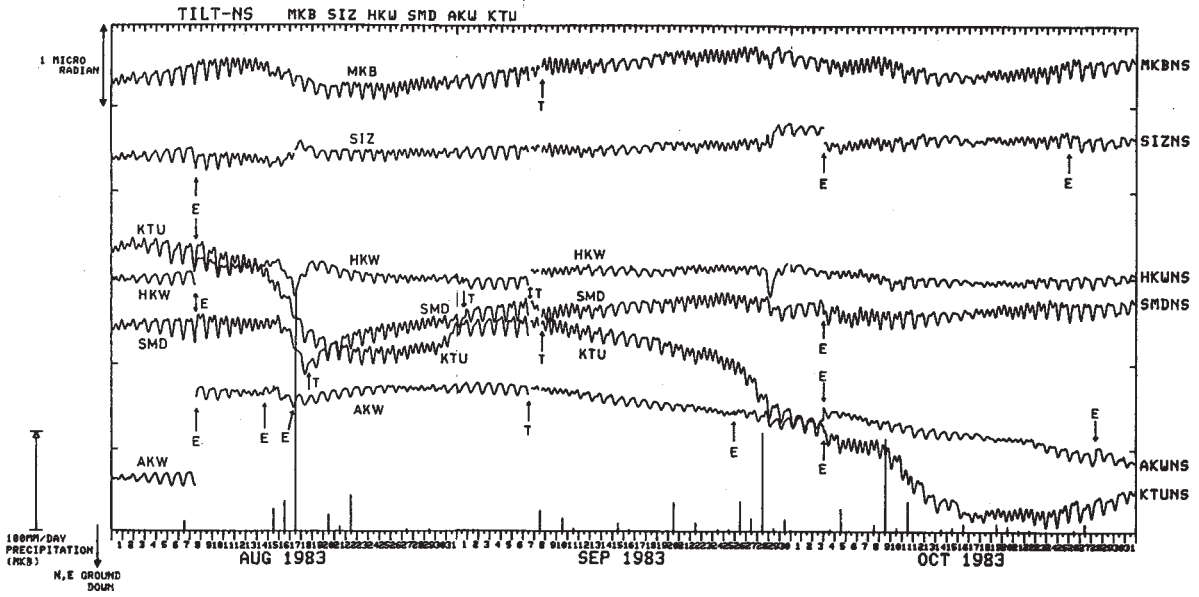
Fig. 1 Hourly plots of crustal tilt from May to Oct., 1983. E, tilt change caused by earthquake shock; T, instrumental trouble; ?, unusual change by unknown origin.



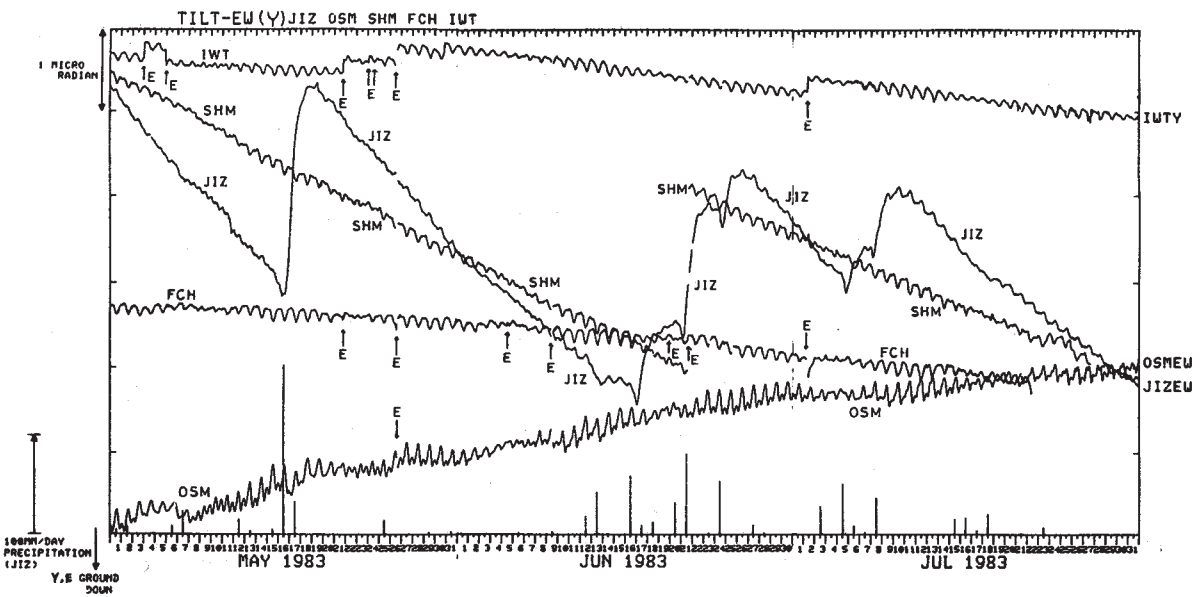
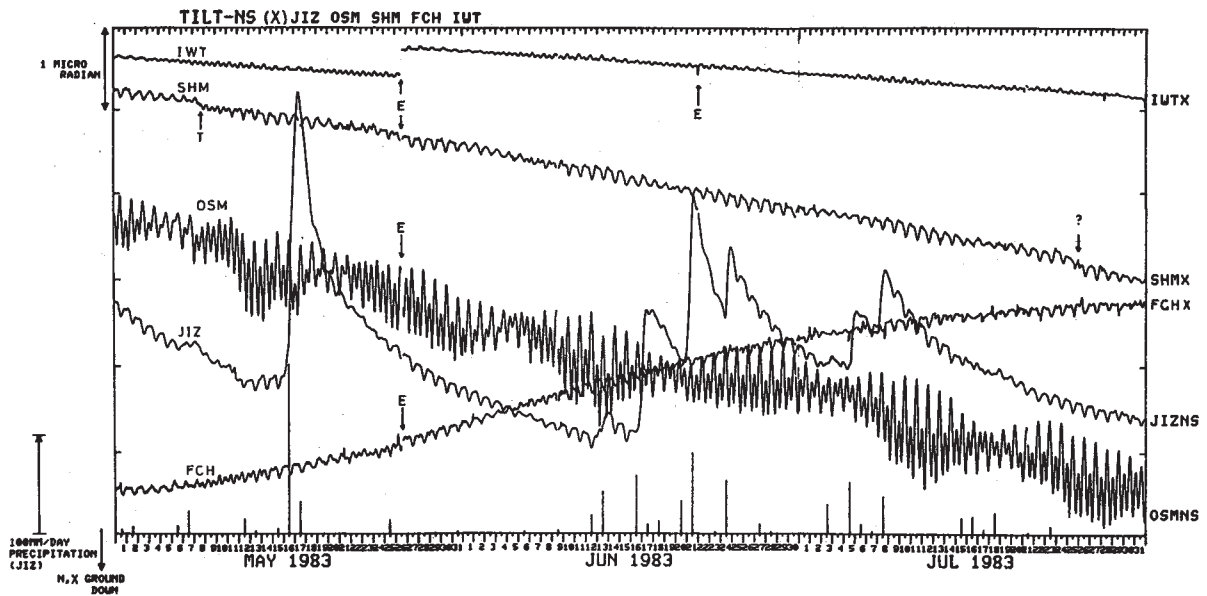
第1図つづき
Fig. 1 (Continued)



第1図つづき
Fig. 1 (Continued)

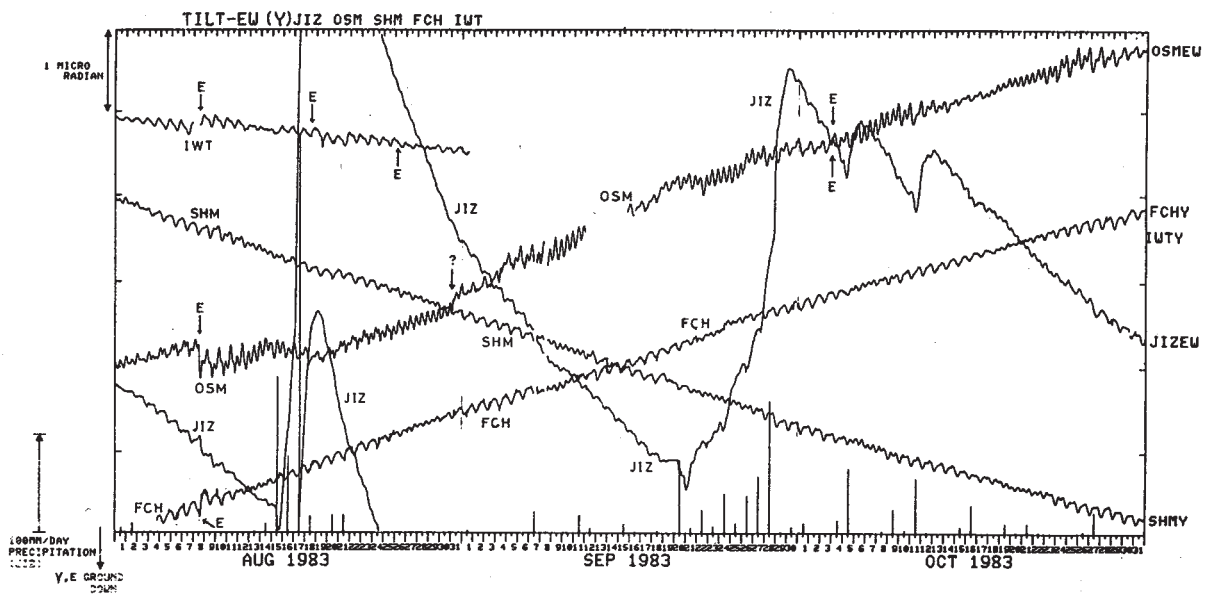
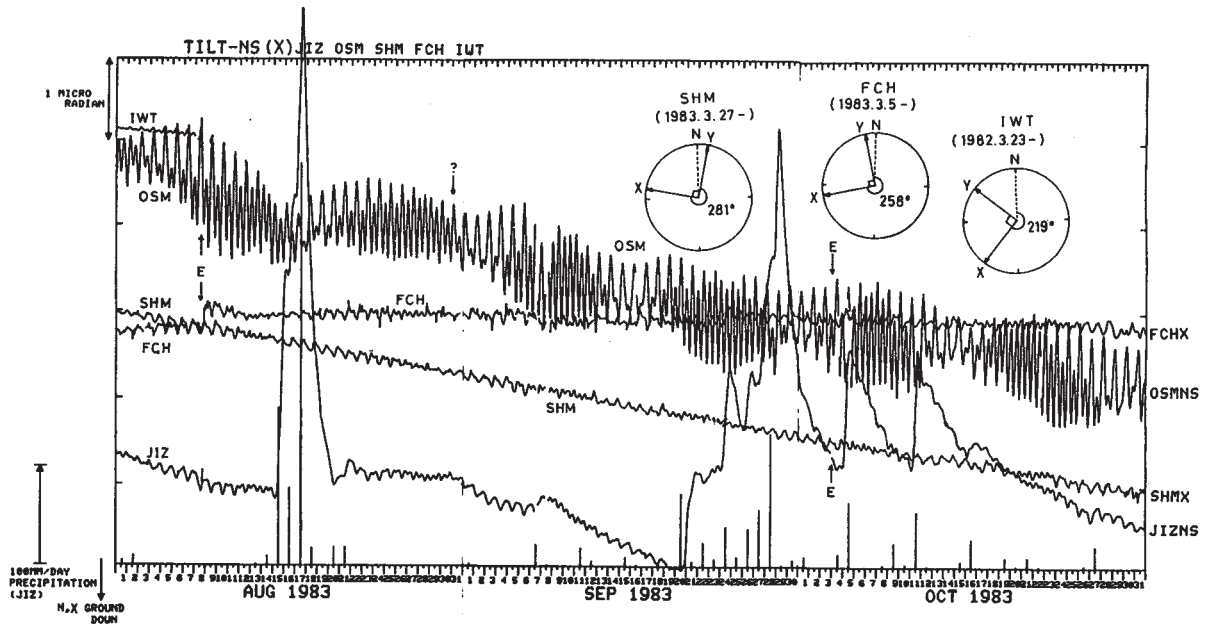


第1図つづき
Fig. 1 (Continued)

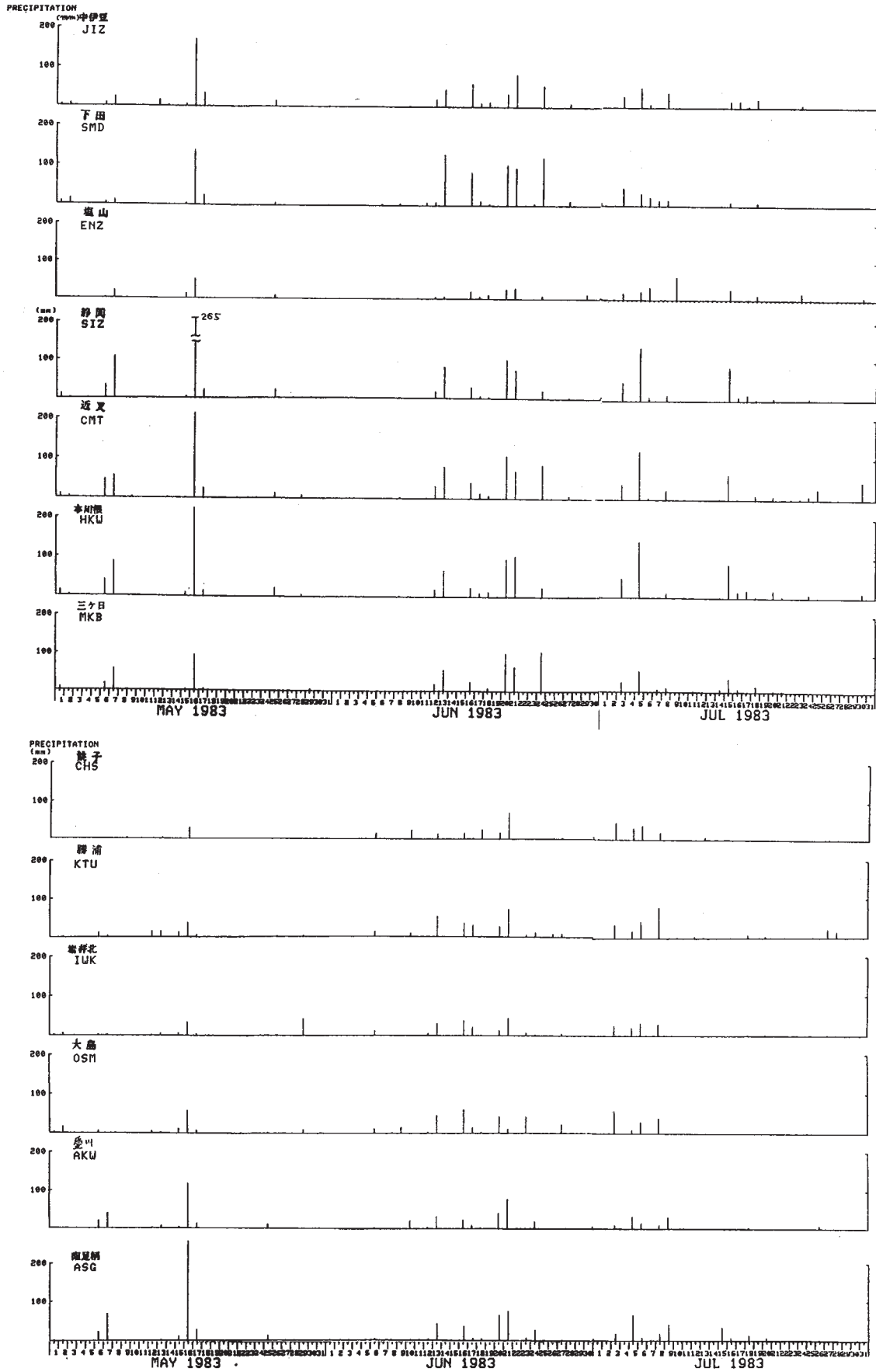


第1図つづき

Fig. 1 (Continued)

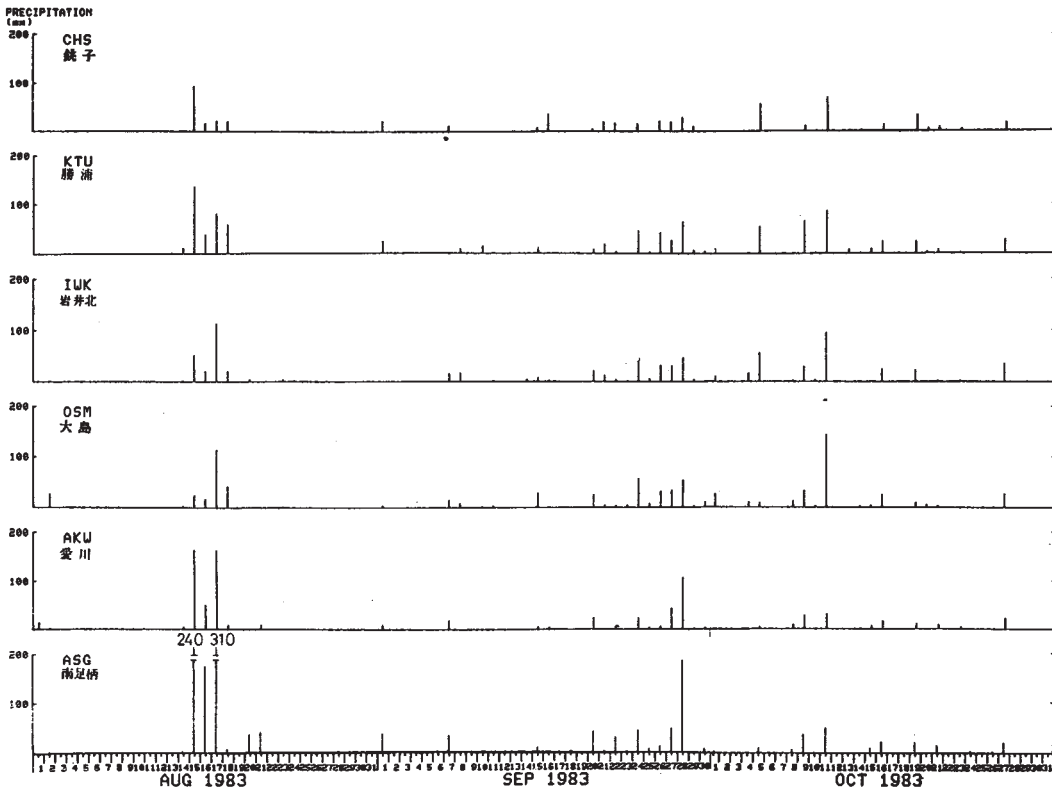
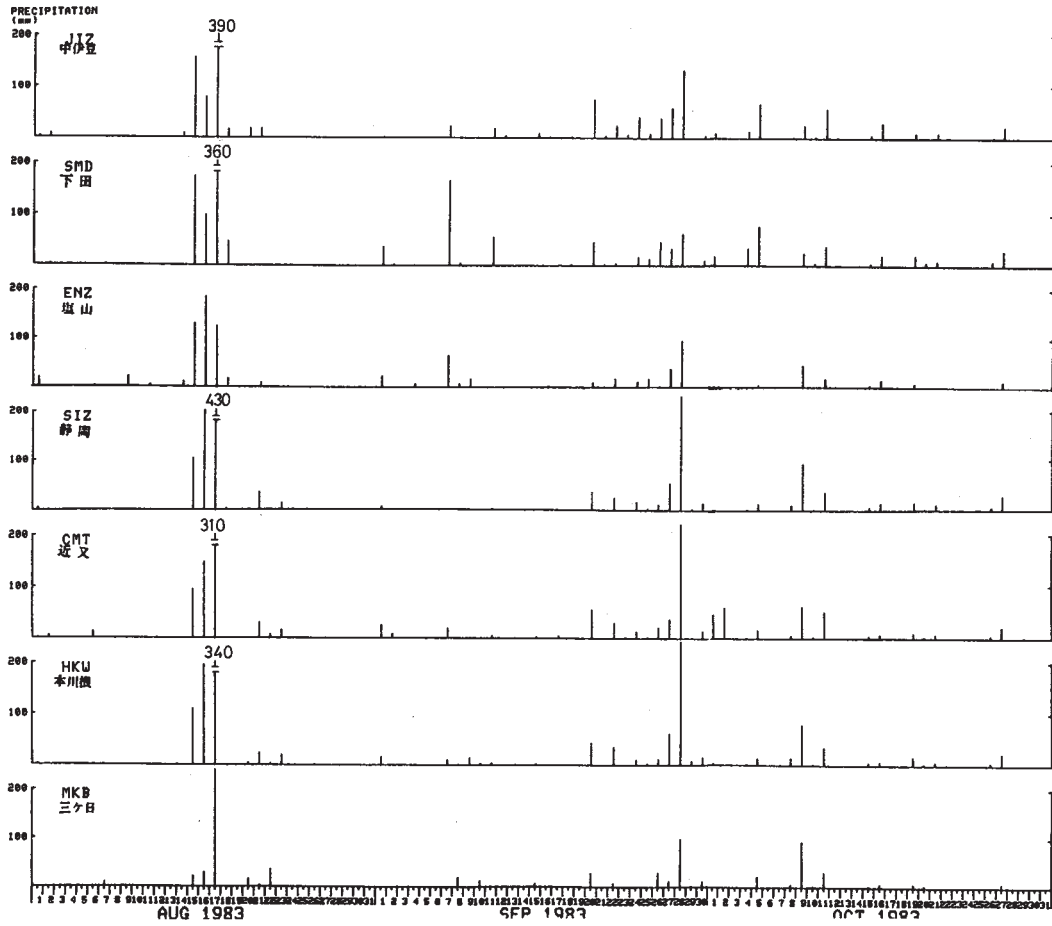


第1図つづき
Fig. 1 (Continued)



第2図 1983年5月～10月の日降水量

Fig. 2 Daily plots of precipitation from May to Oct., 1983.



第2図つづき
Fig. 2 (Continued)